

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月14日

計画の名称	和歌山市における暮らしを守る重要施設の地震対策と雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	和歌山市												
計画の目標	下水道施設の耐震化を行い、浸水被害の軽減を図るとともに、市民の暮らしを守る防災環境の形成を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,406	A	1,354	B	0	C	52	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道総合地震対策計画策定区域における緊急に耐震化の向上を図るべきと判断した特に重要なマンホールの地震対策実施率を0%（H29）から100%（H31）に増加させる。 下水道総合地震対策計画策定区域における緊急に耐震化の向上を図るべきと判断した特に重要なマンホールの地震対策実施率 重要なマンホールのうち、耐震化または減災対策が行われている数（箇所） / 緊急に耐震化の向上を図るべきと判断した特に重要なマンホール（箇所）	0%	50%	100%
2	被災時における避難所のトイレ使用を確保するため、緊急対策としてマンホールトイレを26箇所（H29）から39箇所（H31）整備する。 マンホールトイレ設置箇所数	26箇所	35箇所	39箇所
3	計画期間内における都市浸水対策達成率を49.5%（H29）から50.2%（H31）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	49%	50%	50%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
和歌山市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	和歌山市	直接	-	-	改築	管渠施設耐震対策	マンホールの耐震化 80基	和歌山市						21	策定済	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	和歌山市	直接	-		管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ設置	マンホールトイレ4箇所設置、1箇所設計	和歌山市						70	策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	和歌山市	直接	-		管渠(雨水)	新設	雨水管渠	雨水管 450~U3300*1800 L =2,900m	和歌山市						751	-
	A07-004	下水道	一般	和歌山市	直接	-		ポンプ場	新設	雨水ポンプ場	松江雨水P場、島橋雨水P場、中島川雨水P場、和田川雨水簡易P場	和歌山市						166	-
	A07-005	下水道	一般	和歌山市	直接	-		管渠(雨水)	改築	管路施設長寿命化計画策定実施	管路更生	和歌山市						51	策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-006	下水道	一般	和歌山市	直接	-		ポンプ場	改築	ポンプ場施設長寿命化計画策定実施	大淀雨水P場、新堀雨水P場、手平中継P場 長寿命化対策実施	和歌山市						277	策定済
		下水道長寿命化計画																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	和歌山市	直接	-	管渠(合流)	新設	合流管渠	実施設計	和歌山市						18	-	
	A07-008	下水道	一般	和歌山市	直接		ポンプ場	改築	ポンプ場施設耐震対策	手平中継P場 耐震対策実施	和歌山市						0	策定済	
											小計						1,354		
										合計						1,354			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 和歌山市下水道部において実施	事後評価の実施時期 令和3年度
	公表の方法 和歌山市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	特に重要なマンホールの耐震化率は目標の6割程度にとどまったが、緊急輸送路上にあるマンホールの浮上防止対策は着実に進んでおり、地震時の液状化によるマンホールの浮上を抑制することができる。 マンホールトイレ設置箇所数はおおむね目標値を達成しており、被災時の避難所のトイレ使用を確保することができる。 都市浸水達成率についても目標値を達成しており、都市浸水対策が計画通り進められている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	処理場・ポンプ場施設の耐震対策について、有人施設の人命を守ることをはじめ、優先機能である揚水機能を確保する対策を順次進めている。
特記事項（今後の方針等）	
特に重要なマンホールの耐震化について、対策を加速させるよう検討する。 処理場・ポンプ場について、耐震対策に加え、耐津波対策の実施や、耐水化計画を策定する。 都市浸水対策について、ストックマネジメント計画に合わせて雨水ポンプ場の改築を実施し、適切な機能確保を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	特に重要なマンホールの地震対策実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	59%
2	マンホールトイレ設置箇所数	
	最終目標値	39箇所
	最終実績値	38箇所
3	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	50%
	最終実績値	50%